

市政通信

日本共産党
宝塚市議団
電話 F A X
直通番号
74-9967
各議員
電話番号

草野 義雄
62-9352
となき 正勝
77-7552
たぶち 静子
91-0198
田中 こう
0798
52-5575

文化創造館、アピアリニユー アル事業の進捗状況・ 産業建設常任委員会 となき正勝市議

7月28日産業建設常任委員会が開かれました。景観行政について、文化創造館の取り組み状況、アピアリニユーアル事業の進捗についてそれぞれ報告がありました。



景観行政について、当局からは宝塚市都市景観条例の概要、景観形成指導基準があり、良好な景観の形成に役立つていること。また、市内の27地区の地区計画を決定、7地区の都市景観形成地域を指定し、形態、意匠、垣、柵などの制限を設けているとの報告がありました。

景観法によるものと条例によるものとの違いについて質問が出されましたが、強制力の違いはあるが、本市では地区計画により一定の拘束力がある。景観に対するニーズの高まりによつては今後景観法の活用も考える必要があるとの説明がありました。

文化創造館について、3月市議会で指定管理者指定議案が否決され、5月以降、基本理念の実現

が図れる運営主体のあり方の再検討、指定管理料や文化育成事業委託料の考え方の整理などを担当部内で検討してきた。指定管理者について8月中旬に選定方法を決定し、12月議会で承認を受け、来春オープン予定としていきます。平行して9月からは建物改修や記念公園周辺道路の整備も行われます。

となき市議は3月に議案が否決されたが、その後の進展が非常に遅い。指定管理者の選定基準について、以前は経営を重視したものとなつていたが、その見直しや、市民がより参画できる仕組みが必要だと指摘しました。

アピアのリニューアル事業について、つなぎ融資延長に係る6億円の債務負担行為の先決処分の報告。3銀行と市が損失補償契約を7月に締結。営業改善の状況の報告がありました。

議会基本条例の議論を 議会運営等検討委員会 草野義雄市議

08年度第一回議会運営等検討委員会が7月30日に開かれました。議題は、今年度のすすめ方について。まず草野市議が、これまでの当面できることを中心に検討するということではなく議会基本条例をつくるという提案もあり、議会基本条例を中心に議会のあり方の根本を議論するべきだと述べました。それをめぐって議論が行われ、公明党の委員が議員の資質の問題だと消極的な意見を述べたほかは、おおむね議会のあり方そのものを議論するべき時期にきているという受け止めでした。

宝塚市会議員団のホームページが新しくなっています。動画も活用し、各議員の挨拶を掲載しています。今後、政策や見解なども紹介していく予定です。市政通信などニュースも掲載しています。バックナンバーを見ることも可能です。ぜひ、ご覧ください。

アドレスは <http://takarazuka.jcp-web.net>

日本共産党宝塚市議団

検索

